

会議録

会 議 名		令和 7 年度(2025 年度)第 4 回八王子市文化芸術振興評議会
日 時		令和 7 年(2025 年)9 月 16 日(火) 午後 6 時 00 分～7 時 45 分
場 所		学園都市センター 12 階 第5セミナー室
出席者	評 議 員	垣内座長、川崎副座長、酒百評議員、村松評議員、甘麻評議員、山本評議員、伊藤評議員、香川評議員、庄田評議員、安部評議員
	事 務 局	真辺市民活動推進部長、南部学園都市文化課長、煤津主査、飯島主任、高橋主事
欠 席 者		中島評議員
議 題		(1)第 2 期八王子市文化芸術ビジョン施策の体系案及び素案について (2)第 2 期八王子市文化芸術ビジョン表紙デザインについて
公開・非公開の別		公開
傍 聴 人 の 数		-
オブザーバー		-
配 付 資 料		〔配付資料〕 次第 資料 1 施策の体系(案) 資料 2 第 2 期八王子市文化芸術ビジョン 素案 資料 3-1 表紙デザイン案① 資料 3-2 表紙デザイン案② 資料 4 市政モニターアンケート結果(速報値)
議事内容		
議題 (1)第 2 期八王子市文化芸術ビジョン施策の体系案及び素案について		
事務局	議題について、資料 1 から資料 2 に沿って説明	
評議員	事務局から説明のあった施策の体系及び第 2 期八王子市文化芸術ビジョン素案について、各委員から意見、質問をお伺いしたい。 資料 1 は、取組例が追加されてかなり具体的になったので、もし漏れているものや気づいた点などがあれば、ぜひご発言いただきたい。 なお、資料 1 の表記について、「取組例」と「具体例」が混在しているので、統一することをお願いしたい。	
評議員	資料 1 に関して、前回から中身が具体化され、期待できると感じた。特に、「そだてる」の施策の方向性 3 「歴史や伝統文化を次世代に保存・継承する取組の実施」の具体例がとてわかりやすく、現実的になっていると感じた。 1 つ気になった点として、「そだてる」の施策の方向性 4 「文化芸術活動を支える支援者の発掘・育成」は、どのように行う予定か教えてほしい。SNS などでの募集を行うイメージか。	

事務局	市と（公財）八王子市学園都市文化ふれあい財団が行う八王子芸術祭のサポーターなどを想定しており、募集にあたっては SNS も活用している。
評議員	伝統芸能に限らず、担い手のほかに支援者を確保することも大切だと感じる。ここに力を入れていただくとよくなるのではないかと思う。
評議員	「そだてる」事業によって、文化芸術活動を支援する人を育て、これが「ささえる」事業をバックアップするような位置付けとなっている。
評議員	<p>具体的な取組が追加されたことで、市民が見てもわかりやすいものになったと思う。</p> <p>「こたえる」の指標について、八王子芸術祭の来場者・参加者数が令和 5 年度のみ数字が大きい点が気になった。累計ではあるが、年度によってばらつきのある数字を指標に用いるのはどうか。</p>
事務局	八王子芸術祭は 2 か年をかけて行う事業で、1 年目は地域のリサーチやプレ事業、2 年目に本格的なイベントを実施するため、どうしてもばらつきが出てしまう。そのため、指標も累計としている。
評議員	八王子芸術祭の補足説明として、一昨年に 1 回目の芸術祭を高尾・恩方地域を中心に実施した。これまで音楽祭を実施していたが、様々なアートを取り上げるということで、芸術祭という取組に変更した。市内を、5 つの地域に区分し、それぞれ 2 年間をかけて、10 年で市全体を巡る。今年が 2 回目であり、軌道に乗り始めたところである。
評議員	「ひろげる」について、取組例として「日本遺産を活用した観光ツアーの企画・開催」とあるが、これは行政主体で企画するのか、民間企業と協力して企画するのか。
事務局	今年度、市の日本遺産担当所管で文化庁の補助金を活用して、観光ツアーの設計や音声ガイドの作成に取り組んでいる。来年度から旅行会社などと連携して販売し、継続的に実施していく予定と聞いている。
評議員	<p>私も八王子芸術祭の人数は気になったが、プレと本番ということで、累計でこの数字になっていくということだと思う。</p> <p>日本遺産の活用については、日本遺産に選ばれた都市として、観光と文化の両面で資源をうまく活用し、文化への理解が深まるよう、行政として力を入れてほしい。</p>
評議員	<p>ビジョンは素晴らしいものになったと思うが、全体的にもう少し簡潔にして、誰が見てもわかりやすいものになるとよい。1 つの内容を 1 ページに収めてもらえるとわかりやすい。</p> <p>先ほど観光の話もあったが、市内のホテルや桑都テラスなどと一緒に何かやるということも考えているか。</p>

事務局	<p>全てを学園都市文化課でやるということではなく、市の色々な所管が、文化芸術に関連した取組として実施するものと考えている。</p>
評議員	<p>ビジョンの取組として、何のイベントをどこでやるか、より具体的に載っていると、見た人が自分はどこに参加できるかわかりやすく、身近なものとして受け止められると思う。</p> <p>八王子は広いので、八王子芸術祭を地域ごとに分けて実施するのはよいと感じたが、各地域では盛り上がったとしても、他の地域にはなかなか伝わらない。八王子駅周辺のイベントは南大沢の人にとって足を運びにくく、八王子文化連盟も八王子駅周辺のメンバーが多い。去年の市民文化祭では、いちょうホールの改修に伴い南大沢の会場も利用したが、行くのが大変だった。</p> <p>例えばシャトルバスなど、交通面での支援や、5か所で開催した後、最後に八王子全体でやるなど、八王子が1つになるように取り組んでもらいたい。</p> <p>ビジョン自体は素晴らしいと思う。ただ、今後どう活かしていくかが課題だと思う。</p>
評議員	<p>八王子芸術祭はまだ始まったばかりなので、これから少しずつ八王子全体が一体化していくことを目指していると思う。</p>
評議員	<p>ビジョンに対してどう実働していくかという点が、体系案に明確に打ち出された。素案 P22 のビジョンの全体像が全体の地図の役割を果たしており、わかりやすい。</p> <p>また、各方向性に関して具体的な取組例が挙げられ、イメージしやすくなった。ただ、ここで掲げた取組を、実際に市が施策に反映できるかは、個人的にまだ少し疑問がある。</p> <p>特に「ひろげる」について、「文化芸術を通じた多様な交流の推進」とあるが、「交流」をどう捉えているかが見えにくい。例えば「交流の機会を提供する」の取組例が、青少年海外交流事業やホームステイとなっている点は、このレベルの交流でよいのか疑問に感じる。ここでの「交流」は、関係人口や交流人口を増やすことが目的ではなく、アーティスト同士や、アーティストと市民、外部との交流について、より具体化すべきと考える。</p> <p>また、学園都市という特徴を生かして、学生をいかに巻き込むかという点をもっと強化してもよいのではないか。美術系大学の学生向けアンケートでも、約半数が交流の機会を求めているので、大学の中で完結していく部分もあると思うが、交流を促す取り組みを市が支えられるとよいと思う。</p> <p>全体に関して言うと、行政にもデザイン的なディレクションが必要だと感じた。それぞれの指標に関して、数字だけで判断することはできないため、数字では見えない部分を誰がどう評価していくか。方向性は5つに分かれているが、全体を評価する仕組みが必要と感じる。</p>
評議員	<p>素案 P39 の「推進体制」を見ると、様々な立場の人が明記されており、市の内部でもあらゆるセクションが関連していることがわかる。</p> <p>ただ、前のセクションで、特に「ひろげる」について、まちの賑わいに焦点があたりすぎているように感じた。国も「文化と経済の好循環」とは言っているが、経済だけではない。「地域課題の解決につなげる」というところまで膨らんでいるので、記述につい</p>

	ては再検討してほしい。
事務局	「ひろげる」について、賑わいづくりに寄りすぎているところがあった。それだけでなく、まちづくりや地域の課題解決につながることをわかるように修正したい。
評議員	<p>方向性5について、「とどける」から「ひろげる」にしたことでわかりやすくなった点がよい。</p> <p>今話題に出たが、私はまちづくりという視点にポイントを置いていた。というのも、奥能登の地震フォーラムで、大きな災害で町が壊滅的な被害を受けた際、「伝統文化を何とかして蘇らせよう」という思いが地域の再生に大きな力となったという事例があった。こうした思いが地域をつくる力になる。「ひろげる」の記述が、やや賑わいに傾倒してしまったかもしれないが、まちづくりにも広がるとよい。どこの自治体も予算がない中で、地域の人たち同士がつながって取り組む力が求められている。文化芸術で広がった地域のつながりが、市のまちづくりにも反映されるようになるとうい。</p> <p>また、八王子市の強みは学生だが、例えば大学コンソーシアム八王子が行う「学生CMコンテスト」について、レベルの高い作品が出ているのに市民にあまり知られていないことを残念に思っている。学生が力をもっと発揮できるように、市がフォローすることが必要。それが八王子の大学に行きたいという動機にもつながるのではないか。</p> <p>今回のビジョンの中で、「自分も文化芸術活動を始めてみたい」という人に機会を提供するのは、どの項目にあたるのか。</p>
事務局	方向性 2「そだてる」に文化芸術活動を始めてみたい人に対して、「文化芸術活動を始めるきっかけとなるような機会を提供する」というのを位置付けている。
評議員	いつでも挑戦できる、文化芸術活動への敷居を低くするという内容も打ち出せるとよい。今後高齢者が増える中で、文化芸術活動に触れることが、第二・第三の人生を豊かにするということがわかりやすくなると思う。
評議員	<p>全体として、資料が膨大で、ぼやけた印象がある。</p> <p>例えば、「ささえる」について、主な施策として場の提供を謳っているが、「こたえる」の中の施設の管理と同じ内容に見える。取組例でも、「こたえる」の取組例として「八王子芸術祭の開催」とあるが、この表現だと「ひろげる」や「つたえる」の内容と変わらないため、「開催の場の提供」と限定をした方が、「こたえる」の内容に合致するのではないかと思う。</p> <p>指標についても、「こたえる」の指標が果たしてイベントの来場者数でよいのか、文化施設の来場者数の方が適切な気もする。</p>
評議員	こういう事業は、見る方向によって同じ事業でもいくつかの機能を持っているので、重なる部分がある。その重なりがあることが明確にされていけばよいのかもしれない。
評議員	「こたえる」という表現がわかりにくいように感じる。

評議員	見たい、聞きたいという声にどうこたえていくかということだが、ぱっと見たときにわかりにくい。表現の仕方を工夫してもらいたい。
評議員	ビジョンが出来上がった際、市民も手に取れるものか。何部程度印刷する予定か。
事務局	基本的にはホームページで閲覧してもらうことを想定している。印刷は、主に市民センターや図書館などでの閲覧分に限る予定である。
評議員	<p>私はこの会議に出ているので、ビジョンの内容を理解しているが、広く市民にビジョンについて周知することが重要と思う。この情報量で発信すると受け手は驚いてしまうと思うので、ビジョンを市民向けに落とし込んだものを、イベント案内などと抱き合わせて周知してはどうか。</p> <p>取組例が具体化されイメージがつかみやすくなったが、取り組む上で修正が必要になった場合は、立ち返って軌道修正するとよりよくなると思う。</p> <p>関係機関が多いため、関係機関にもわかりやすく共有することが重要。</p> <p>八王子芸術祭の話があったが、夕やけ小やけふれあいの里で実施されたイベントに家族で参加した。高尾ならではの自然に囲まれてコンサートを楽しみ、それをきっかけに施設の魅力を知ることができたほか、Instagramをフォローしたことで今年度の実施についての情報もいち早く知ることができた。こうした積み重ねが大切だと思う。</p> <p>「ひろげる」の施策の方向性で「交流機会を提供する」とある。八王子まつりの山車について、繁華街においても引き手が減っている状況があり、暑さで子どもたちも出てこないなど、特に昼の引き回しが難しくなっている。こうした状況があるのに、一方で、安全のため、半纏を着ている人以外は歩道へ上がらなければならず、観光客が山車引きに参加できないことを残念に感じている。地方では、観光客に体験して満足してもらい、その上で儀式的なこともやるというところもある。今後、八王子でも今ある文化的資源をたくさんの人と共有する動きが出てくるとよい。</p>
評議員	<p>ビジョンを市民に知ってもらうために内容を抜粋した概要版を作成し、周知するとともに、詳しく知りたい人には、本編やこの評議会の議事録がWebなどで見られるようにするといった重層的な対応がなされるものと理解している。また、計画期間中の軌道修正については、素案のP40に「柔軟に見直し・改善を行います」とある。</p> <p>八王子祭りの運営については、事故への配慮などがあると思うが、先ほどのご意見を関係機関と共有するなど、事務局には心に留めておいてもらいたい。</p>
評議員	<p>全体的に文章が多すぎて情報が入ってこない。</p> <p>指標について、「ひろげる」の「八王子への来訪者数1,150万人」に対して、「つたえる」は「文化芸術が八王子の魅力と感じている人の割合 16%」で、ぱっと見た印象として低いと感じた。規模感にばらつきのある数字が指標でよいのか疑問に思う。</p> <p>素案のグラフ等はわかりやすいが、これだけのページ数だと情報が入ってこない。</p>
評議員	「ささえる」の「文化芸術イベントへの市民サポーター参加人数 延べ人数の累計540人」に対して、「ひろげる」の1,150万人というのはあまりに開きが大きい。先ほ

	どの説明以外に事務局から補足はあるか。
事務局	<p>「ひろげる」の指標は、観光入込客数を想定しており、現時点で 850 万人を超えている。それを基準に設定するとどうしても多くなる。一方で「ささえる」の市民サポーター数は現時点で少なく、少しずつ増やしていこうと考えている。指標の数字としては、どうしても小さく見えてしまう。</p>
評議員	<p>行政計画は、市民向けでもあり行政向けでもある。計画に取組を位置付けておくと、国などの補助金が確保しやすいといった事情もあるので、ある程度網羅的に書いておく必要がある。</p> <p>今回のビジョンでは、「ひろげる」の新設が大きな目玉になっている。素案の P5「ビジョンの位置づけ」で、国と都と市の三者いて、市の部分では条例と基本計画とビジョンが書かれているが、総合計画や都市マスタープランなど、まちづくりと一体というところがビジョンの重要な位置付けになっていることがわかるように、右側などに改めて記載してもよいと思う。他の評議員からもあったように、まちづくりと一体であるという点が肝なので、うるさいくらい書いてもよいのではないかな。</p> <p>「ひろげる」の中でまちの賑わいにつなげることを表記しているが、「賑わい」をどうとらえるかは重要な点である。典型的なものとして、阿波おどりのように1～2日に集中して人が集まるものは、民間投資につながらないので NG。その期間だけホテルが高かったり、公共交通機関が混雑していたりしても、そのためだけに民間投資は呼び込めない。</p> <p>年間を通じて常に一定の人が来ることで、初めて投資が生まれ、公共交通機関が成り立つ。私が関わっている首都圏の自治体は、どこも賑わいという言い方をしているが、一過性ではなく、何もないうきにも人が来る材料として文化芸術が必要ではないかというのが、ここでいう賑わいと思う。この点は厚めに書いてよいかもしれない。</p> <p>サイバー空間で芸術発信をするということも、どこかに書いてあったと思うが、今は、例えば YouTube 上で発信が無料でできる。そこに誘導するための仕掛けが次のイベントになってくる可能性が高い。このビジョンの中でも新しいメディアについては触れており、新しい時代に沿った、ある種先進的な形になっていると思う。</p>
評議員	<p>ビジョンの素案については、概ね了解いただいたものと認識している。ただ、書きぶりやメリハリの付け方、焦点の当て方について、事務局は再考していただきたい。</p> <p>P5 については、条例と基本計画が縦に並んでいる形でのよいのか、関連計画の並びがこれでよいのか、事務局で重要性などを整理していただく。今回新たに「ひろげる」を追加し、まちに出ていくことがわかるような形でビジュアル化していただくことが大事と思う。</p> <p>また、指標については、今回数字が入ったことでイメージができるようになったが、規模感が大きく異なる点が気になる。「こたえる」でいうと、八王子の文化芸術イベントへの来場者数が8年間で 51 万人となっているが、文化施設への来場者数はもっと大きいはずである。「つたえる」の指標も、探せば他にももう少し適当なものがあるのではないかな。「そだてる」の文化芸術活動を行っている人の割合も、今は個人が写真を撮ってアップしたり、動画を誰でも発信できる時代で、多くの人が日々何かやっている。目標値が低いのではないかと気になった。</p>

	<p>一番気になるのは「ささえる」で、文化芸術イベントへの市民サポーター参加人数で延べ 540 人と目標値がかなり低いように感じる。この指標1つだと目立ってしまうので、各方向性で1つの指標ではなく、複数の指標を用意するのも1つではないかと思う。また、複数の指標を設ける場合は、定量ではなく定性の目標でも良いので、事務局で検討してもらいたい。</p>
評議員	<p>市民サポーターについては、コロナ禍で途絶えてしまい、今は少ない状況にある。八王子芸術祭の市民サポーターもなかなか集まらないが、研修を受けて、「あのイベントにサポーターとして参加した」ということを誇れるようなステータスになれば、参加者も増えると思う。</p> <p>また、市民センターまつりでは、地域の人がテント設営やお赤飯の用意などをしていて、そういう人たちも「ささえる」の指標の実績にカウントできれば数はもっと多い。文化芸術活動を支えている人たちの数字の捉え方について、もう一度見直した方がよい。</p>
評議員	<p>そのあたりも含めて、事務局の方で検討していただきたい。</p>
議題 (2)第 2 期八王子市文化芸術ビジョン表紙デザインについて	
事務局	<p>議題について、資料 3-1 から資料 3-2 に沿って説明</p>
評議員	<p>評議員の意見のみを参考にするのではなく、市民にも御意見をいただいて決めてもらいたいと思う。</p>
その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の要点録はまとめ次第、内容確認を依頼する予定。 ・ 確認後、名前を伏せた形で公開する。 ・ 今後の策定スケジュールとして、政策決定後、12 月～1 月頃にパブリックコメントを実施し、年度内に完成。 ・ 市民活動推進部長から御礼の挨拶
会議終了	